


第3回普代村小中一貫教育検討委員会終了後の感想

- ・ 今日「子供達に大切な事」を考える日になりました。「考える力」「ひとりで生きている力」「命の大切さ」等、15才になるまでに身につけてほしいものが多く考えられました。こんなにいろいろな角度から物事を考え、どんな事が大事なのかを考える時間になりました。どれかひとつ選んでみてくださいと言われましたが、ひとつだけでなく、すべて身につけさせたい。いがいと大切に考える事があるのだと思いました。
- ・ たいへんシンプルかつ身近なテーマを出していただき、日頃から無関心で普代村を思っていない、考えていない生活をしていることがよくわかりました。明日からは、今日のテーマの一つ一つを考えて暮らそうと思ってみるものの、毎日の忙しい生活がジャマするのかな？ しかしながら、一つでも思い出して考えることができたら良いと思います。楽しかったです。
- ・ **ふるさとのFはふだいのF** ふるさを支える3つの愛 i ふるさとのよさを見つける行動はFight
すばらしい普代の景色はFine 大事なことをみつけるFind 本日のワークショップは3つのFに気付いた時間 どこにでもあるようで、よ〜く3Fしないとふるさとのよさや大事なことはみつからない。3つのFにはi(愛)があります。 普代の好きコンブ
- ・ Kさんの体験発表に心打たれました。大工さんとして自分が最初に完成させた家屋、感動は何十年経ても失せることなく昨日の出来事のように感じた。それが自信となり、次の夢に向かうステップだと思う。人生で最初に成しとげたことは、いつまでも思い出となると思う。中学生の発表は、2人ともすばらしいものだった。将来への希望がふくらんだ感じだった。
- ・ グループワークを通じて、様々な角度から考える必要性を感じさせられた。(自分の想いや考えが狭いことを改めて考えさせられた。)又、中学生も参加したことで、現在彼らが感じていることや考えていることをリアルに感じられた。いずれのテーマも参加者の想いはある程度方向は同じであると気付かされた。
- ・ 小中一貫教育の柱となる「テーマ」を皆で話し合っ決めていくという作業はかなりむずかしいだろうと思いましたが、本日ワークショップの第1回目をやってみて、実に豊かな発想・意見が出て来たことに感激し、また安心もしました。この後、この多様な意見がどんな風に集約されていくのか楽しみです!! 又こうして皆さんで話し合っ決めていくプロセスこそが小中一貫が目指す姿だと思いました。
- ・ Kさんと中学生の話題提供の内容で共通していたことは、努力してやりとげたことが達成感となり、幸せを感じることに繋がることが分かる。子ども達にも目標をもち、苦しくても、飽きることもあっても、最後までやり抜き、達成感をもたせたいものだと思う。それぞれのテーマに合わせて自分の考えをどんどん出していったが、ちがうテーマの人たちが書いていたものと共通しているものが多いと思った。

- ・ 考え、意見を出しやすく、まとめやすかった。人の考えはいろいろで、やはり人の話を聞く事の大切さ。その中で自分の考えも見えて来ることもある。大事な事は多くの人が同じ様な考えをもっていた、ことに安心した。
- ・ 人生で幸せを感じた時というテーマで、大先輩のKさん、そして2人の中学生の素敵なお話を聞きました。胸にじんときくるものがありました。人は話すこと、わかり合うことで気づいたり感動したりすることがあるということであらためて思いました。3人のみなさん、ありがとうございました。今日はふるさとの子ども達にどんな風になって欲しいかというテーマ・視点でみなさんと楽しくワイワイガヤガヤ考えました。いろいろな視点があって、おもしろかったです。みなさん知らぬ間にふるさと、そして子ども達というキーワードがインプットされたのではないかと思います。きちんと、ある方向へ導かれているのを感じました。ありがとうございます。よし子さん！！ 
- ・ 生きていく上で大事なことについて普段意識せずに生活していることを思い知らされた。自分のこれからにとって、そして子ども達の指導にかかわるもの一人として、いろいろな「大事なこと」について考え、他の人の考えを知れたことは、大変有意義であった。ありがとうございました。
- ・ 今日は大変勉強になりました。これからも頑張っって参加したいと思います。
- ・ 今日はまちに待ったワークショップ。何が出てくるのか楽しみにして来た。言葉から言葉を発想することは意外とむずかしい。力めばりきむほど発想が遠のいていく。今日参加した二人の中学生の立派なスピーチを聞いたあとだけに、立派な所をみせなければならない・・・アァーすでにりきんでいる。グループでなんとか模造紙に言葉を書き入れ、まとめることができた。それで？　ここから何が導かれていくのだろう？
- ・ 私は小中一貫教育のことについてあまり分からなかったのですが、今日の話し合いで、最終的にこの事業の向かう地点が見えてきたような気がしました。
- ・ 検討した中身が学校現場のことではなく、もっと大きな視点で話し合えたと思います。自分の思っていること、理想、願いを出し合えた話し合いだったと思います。社会人の大先輩の経験談（人生でうれしかった思い出）や現役中学生の“生の声”を聞けて、自分との比較からギャップを感じながら、『青春の心』が忘れていたことを知った一日でした。
- ・ 様々な6つのテーマの中で、色々な意見があった。普段は何げに感じて思っている事でも、いざ文字に表すことに大変苦勞をしました。（先生は簡単に書いて下さいとおっしゃったが、それが意外に難しいものでした。）いかに普段自分が何も考えないで生活しているのか思い知らされました。
- ・ 今日は、小中一貫教育の話し合いに参加してみて、自分の意見をはっきり言うことができました。また中学生に身につけさせたい大事なことなど、題を決め意見交流できたことが、とても良かったと思います。みんな思っていることは子供も大人も同じで、深い意見の交換ができました。